

## 研究委員会企画シンポジウム 3

今、教育現場で LGBT の子どもたちは

### 【 企画趣旨 】

昨今、LGBT と盛んに言われ出し、脚光を集めるようになってきた。Lesbian, Gay, Bisexual, Transgender の略で、性的少数者としてくられる。日本では同性婚は法律的に認められていないが、一部で認知はされている。

しかし、上記はいずれも大人の話であるが、これらが顕著に現れてくるのは思春期で、すでに幼児期や学童期に「他の（同性の）子どもとは違う」ことが本人に認識されている場合も多い。その結果、学校現場でいじめにあったり、不登校になったり、自殺念慮が異常に高く、自尊感情も低いと言われる。

学校教育のなかで、保健体育、家庭科など、性教育や家族形成といったように、外見上の男女を前提に話が進められているが、性別二元性から来る問題と、実際に子どもたちが抱える問題を知り、何が問題で、どのような取り組みが可能かを考えていきたい。